



市議会議員 砂田喜昭 Tel 67-4322



参院・比例予定候補 たけだ良介

衆議院議員 藤野保史

参議院議員 井上哲士

衆議院議員 笠井あきら

マイナンバーの利用拡大に反対

総務常任委員会で可否同数

マイナンバーの利用範囲拡大のための

条例が12月議会に提出されました。砂

田市議はプライバシーの侵害や情報漏洩の危険を指摘し、諸外国ではこのよう

なマイナンバー制度をやめる動きが広がっていることを紹介し、反対しました。こ

の条例が付託された総務常任委員会では可否同数となり、委員長の決済で辛うじて採択されました。

社抑制に使うことを狙っています。

市役所の利用範囲拡大のための条例

マイナンバーの利用範囲拡大によって市民に何らかのメリットがあるものではありません。小矢部市役所が利用できる範囲を広げるための条例です。国民健康保険では、個人の所得にもとづいて、高額医療費の限度額、つまり1カ月に支払う自己負担の上限額が決まっています。この条例をつくることによ

って国民健康保険の担当課ではマイナンバーを使って税務課が持っている所得情報を利用できるようにしようとするものです。しかし、現在でも別にマイナンバーで検索しなくても住所氏名や生年月日で照合しており、何一つ不具合はありません。

ります。マイナンバーを扱うことは企業にとっても負担になります。普段使うパソコンとは別に管理しなければなりません。

諸外国ではマイナンバーやめる動き

諸外国ではこのようなマイナンバーをやめる動きが広がっています。アメリカでは社会保障番号制度がありますが、その番号を使ったりしますが深刻な被害を拡大しています。2006年〜2008年の3年間に、成りすましによる犯罪犠牲者が1億170万件、成りすまし犯罪による被害総額は年平均500億ドル(連邦取引委員会)とされています。

プライバシーの侵害

マイナンバーは12ケタの番号が、生まれたばかりの赤ちゃんからお年寄りまで、すべての個人に割り振られます。これで検索できる個人情報が増やされると、個人のプライバシーが国や行政に筒抜けになります。国は、個々人の預貯金をマイナンバーで検索できるようにすることも狙っています。個人の収入や資産、税金、国民健康保険税や介護保険料などと、その個人が利用した医療費や介護保険など社会保障のサービス利用状況を比較できるようにして、納めた税金以上に福祉サービスを利用してはいるから抑制しようと、福

この情報が一旦漏れると、取り返しが付きません。年金個人情報漏洩事件が発生し、125万件も流出しましたが、日本年金機構がどれだけ反省、謝罪を繰り返しても、いったん漏れた情報をすべて回収できるわけではありません。会社や個人企業も人を雇っていれば、源泉徴収票にマイナンバーを記入することな

情報漏洩の危険

このためアメリカでは社会保障番号で身分証明することをやめるようにしています。日本では個人番号カードで印鑑証明や住民票が簡単にもらえるようになるなどと政府は宣伝しています。個人番号カードには顔写真やICタグも付けてパスポートや身分証明にも使えますが、たいへん危険なことです。なりすまし犯罪が日本でも多発する恐れがあります。

身分証明に個人番号カードなりすまし犯罪多発の恐れ



りすまし犯罪が日本でも多発する恐れがあります。

憲法をまもる小矢部の会が署名活動

憲法を守る小矢部の会は1月17日、戦争法廃止を求める署名活動に取り組みました。歌会始で天皇が詠んだ短歌を障子戸に大きく書いた看板を交差点に立てて通行人に署名を訴えたり、数組で近所

を戸別訪問したりしました(写真)。「テレビの討論番組を見ていたところだ」という方や、「戦争はしてはいけません」、「安倍首相は人の言うことを聞く耳を持つていない」、「自衛隊に入る人がいなくなつて徴兵制かも、この子を戦争に行かせない」、「2千万も署名を集めるのですか、がんばってください」、「私たち、一緒に映画『ひまわり』を見に行つたのですよ。あなたも書いてあげられ」など、多くの意見が寄せられました。



短歌を書いた看板の前から署名活動へ

参加者は「市独自に行っている12年生の多人数学級支援講師を3年生以上にも配置してほしい」、「市にある高齢者サポートの仕組みを市民に分かりやすく知らせてほしい。また高齢者を地域で支えるためにも公的な支援体制が欠かせない」、「高校生の子どもも医療費負担がたいへんという

新日本婦人の会が予算要望



桜井市長に要望書を手渡す新婦人小矢部支部代表

方がおられた、無料化を決めている自治体がある」や女性の働く地位の向上など身近な生活の様々なことについて要望しました。これに対して桜井市長は「女性みなさんの意見や実情を聞かせてもらい、ありがとうございます」と述べました。